

進んでやるのが上の上 中台中学校 剣道部

わたしたち中台中学校剣道部は、2年生16人、1年生8人のあわせて24人。放課後は、道着と袴に着替え体育館に集合です。練習はストレッチから始まり一挙動で終わります。

指導してくれるのは、矢羽先生と井口先生。先生は、標語をつくって、わたしたちに教えてくれました。「言われてやるのは下の下。真似してやるのは中の中。進んでやるのが上の上」です。今でも、言われてできるなら初めからやりなさい」と言わ

れることも多くあります。でも先生は一人ひとりをちゃんと見て、よかった点、悪かった点を具体的に言ってくれるので、「次は「つしよ」と頑張れます。

剣道をしていてうれしいことは、直そうと思って努力したことができるようになることです。また、試合で取った一本一本が、自分の自信につながります。そして試合



今の自分に満足せず、一步でも二歩でも前進

に勝ったとき、今まで剣道をやつてきてよかったと思います。先日の大会は、一試合目では、惜しくも負けてしまいました。その悔しさをバネに明日からの練習を頑張り、次の大会では、今回よりも一つでも上に上がれるようにしたいです。

中台中の剣道部は、稽古中は互いに厳しく、終わればみんな仲良し。暑くて大汗をかいた夏も、寒くて足や手が動かなかった冬も乗りこえてきたメンバー。これから先も一緒にやっけていくメンバーなので、男子・女子関係なく、先輩でも後輩でも注意しあえる仲間になりました。



一瞬も気を抜くことなく

女子関係なく、先輩でも後輩でも注意しあえる仲間になりました。

市民の

一心不乱に



なかまと一緒(58) ●● 書から彫刻の世界へ

桂(木彫り)

わたしたちは、毎月第2・4水曜日久住公民館で飯田俊六郎先生の指導のもと刻字作品を制作しています。

刻字とは木板に字や絵を彫り、顔料を塗ったり金箔などを貼ったりして仕上げる立体書道です。最近、洒落た表札や看板など趣味や芸術作品として刻字を始める人が増えています。

作業は、半紙に字を書



細部の調整は慎重に

くことから始まり、板に文字の輪郭を写し終わると字の1〜2ミリ外側に打つ捨てノミから輪郭に沿って削る本ノミへと彫刻に移ります。また、背景の彫り方も多種多様で、みんな和気あいあいとおしゃべりをしながら楽しんでいきます。

坂目に注意しながら丹念に彫り上げ、平面だった文字がだんだんと立体的になってくると、あともう少しと力が入ります。着色や箔をきれいに貼るために表面を紙ヤスリで丁寧に研磨します。仕上げのポイントで最後まで手を抜くことはできません。ノミや彫刻刀の使い方や色の塗り方次第で、作品一点一点の木のもつ温かさ、美しさなどが異なりとても奥が深く、毎回チャレンジの連続です。



木と語らう仲間です

ミルク缶のカンテラ を手に家々を

わたしの故郷は札幌市東区です。現在実家の目の前が地下鉄東豊線・環状通東駅になっていますが、子どものころは見渡す限りの玉ネギ畑で、近くにはサッポロビール園やS1を製造していた旧国鉄苗穂工場がありました。丘珠飛行場へ離着陸する飛行機もよく見えましたし、とてもどかなところでした。

雪が多いので冬の遊びはスキーやスケートでした。当時は交通量も現在ほど多くはなかったため、スキー靴にフィギュアスケートの歯のようなガツチャと呼ばれる金具をつけて圧雪道路を滑っていました。大晦日には雪の中、近所のお寺へ行って除夜の鐘を突き、そのまま初詣でをするのが習わしでした。

名前は忘れましたが、ハロウィンそっくりの風習があり、ミルク缶に



伊藤為康さん(荒海)



昭和33年ころの自宅前(手前の空き地の下が地下鉄駅に)

穴をあけて取っ手を付けて作ったカンテラを持ち、蠟燭(ろうそく)の中へ、出さないとガツチャク(ひつかく)ぞ!!と歌いながら家々を回りお菓子を貰って歩きました。
小学6年生のとき、約60kmも離れた支笏湖へ自転車で遊びに。当時は付近で熊も出たと聞きましたから、親たちも随分心配したようです。

札幌市で18年、久住に来て既に同じ年月が経ちました。久住の人は温かく、一度も余所者扱いなどされたことがありません。まさに「住めば都」を実感しています。それでも札幌は一生で一番大事な土地であり心の拠りどころ。今度は、子どもたちが故郷の荒海でどんな思い出を作ってくれるか楽しみです。

ふるさとトーク(128) 北海道札幌市

ひろば

スクスクのびのび 317

高橋 佑奈ちゃん(6歳・左) 中台
徳村 朋花ちゃん(6歳・中)
岩立 純佳ちゃん(6歳・右)

お絵かきして遊ぶのが好き。大きくなったらケーキ屋さんになりたい(佑奈ちゃん)
幼稚園ではお手紙かいて遊ぶの。私はお花屋さんになりたい(朋花ちゃん)
好きな遊びはおままごと。看護師さんになりたいけどママは別のものになってほしいみたい...?(純佳ちゃん)
来年はみんな一緒に小学校の1年生。勉強をがんばるぞ!



ペット大好き 93



加藤 真美ちゃん(飯田町)
ゲン 太(オス)

ゲン太はわたしより2つ年下の5歳。家に来たころは小さかったけど、今ではわたしより大きいの。
子どものころからおっとりしているのんびり屋さん。
ブラシで毛をとかすと気持ちよさそうに尻尾を振ってよろこぶんだよ。

河合 彩伽ちゃん(西三里塚)



こんにちは
赤ちゃん 113

河合 唯伽ちゃん(西三里塚)

